

勇者パーティの
賢者♂がTSして
幸せになる話



魔王討伐から
明日で早五年

異常なし
……か

私：賢者カトルは
影ながら神官^{なかま}を
見守る日々を
過ごしている

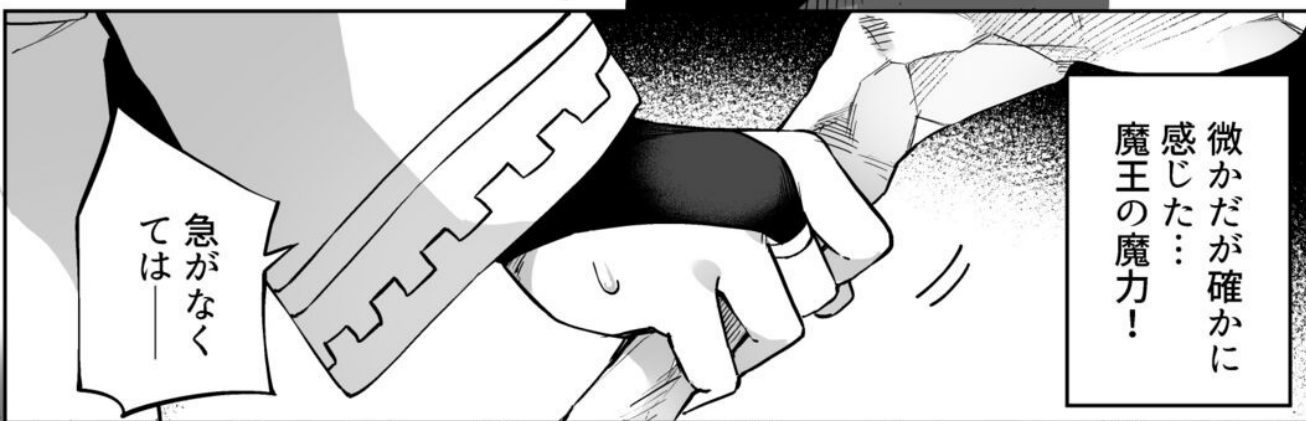
魔王最期の言葉
それが何を意味
するのか

神官よ
貴様になると
しよう――

勇者不在の今
その真意を確かめ
対処する為に

何もなければ
いいのだが……

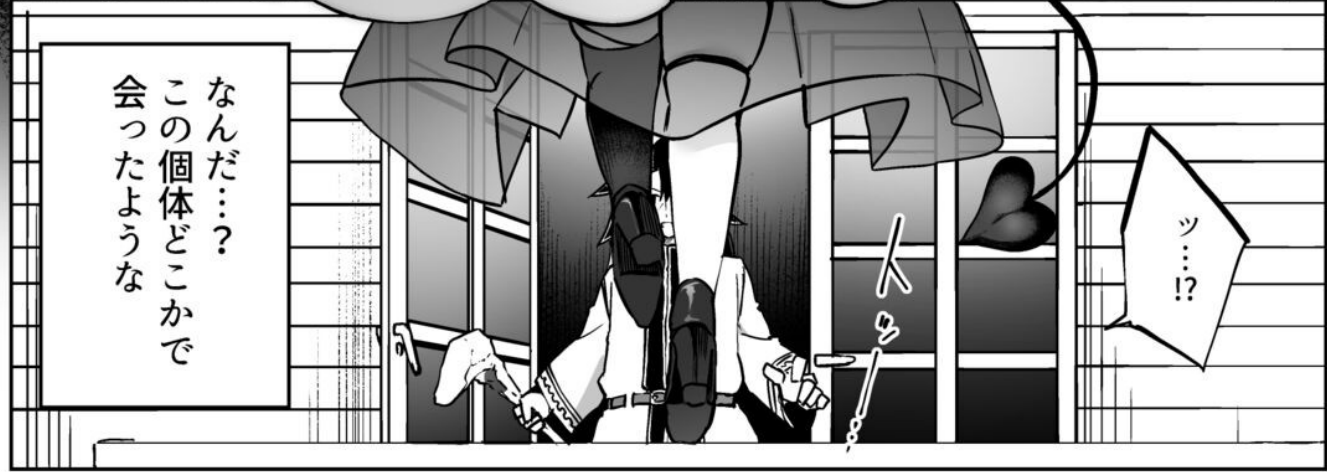
3月20日
異常なし
魔王討伐から5年経つ
一つの節目…
明日はより警戒しなくては





サキユバス…!?

久しぶり♥



ツ…!?

なんだ…?
この個体どこかで
会ったような



今は急いでいる
だけ!
さもなれば



いや—



彼—^{イルファ}神官は
呪いで女の子に
なるよ

魔王復活の
母体になるために



速っ

大丈夫だよ



だから賢者^{カトル}君も幸せになっていいんだよ

レニ……ス……?



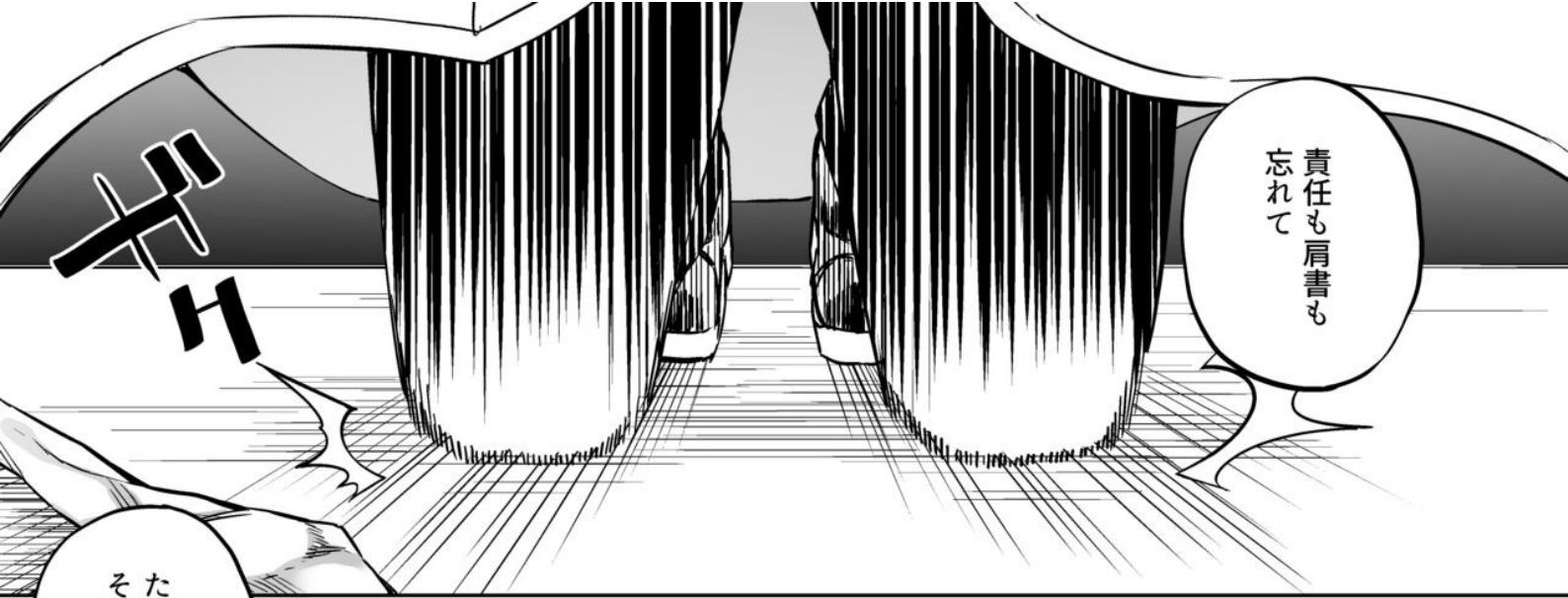
そんな訳……
幻覚……?
今何をされ



信仰心がある限り
彼……彼女はきつと
幸せな道を往ける

身体がっ……

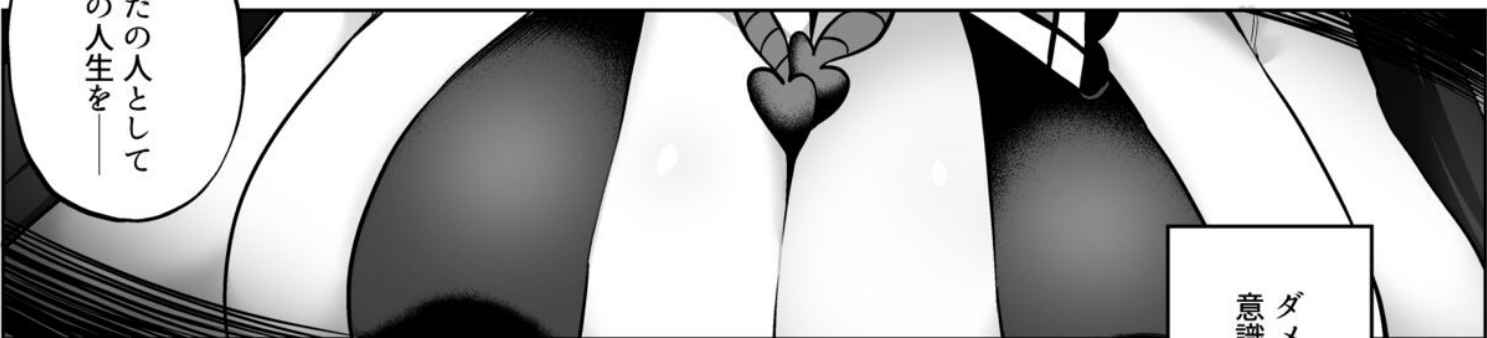
!?



責任も肩書も
忘れて

キ
ン

ただの人として
その人生を――



ダメだ
意識が……!



その手助けを
私がしてあげる

あーん

キ
ン



大事な
「仲間」だからね
♥





なんだ
私の身体...!?



待っ!!

お?



あれ...



よかった!
元気そうだな!



胸...!?

おん



俺は宿屋の
ダン・メリセン
よろしくな!

あんた町の前に
倒れてたん
だってな

三日前の夜中
勇者様似の
兄ちゃんがよ

え?



すみません…
僕は先を急ぐ身
でして…預かって
いただけませんか
って連れてきてな
全然起きないから
焦ったぜ

は…はあ



ま!
詮索はしねえ
ゆっくりしていきな

一体何が
起こって…



…思い出せない
日記を記した後の
記憶が…



三日か…神官は
無事だろうか
確認しようにも
ここが何処かも

……いや
まずは店主に
義理を通すべきか

2名様ですね
こちらの名簿に
ご記名をお願いします

ごゆっくり
どうぞ

いやあ色々
バツチリだ
カトルさん！

あ…
ありがとうございます
ございます

まさかこんな
恰好するハメに
なるとは…！

ぶっ倒れてたのに
店手伝うなんて
言うから心配したが

いっそ看板娘
として雇われる
気はないか？

はは…

冗談冗談！
助かるのは
事実だがな！

でも実際の所
どうなんだ？

俺はいつまで
いてくれても
構わないけどよ

そう…ですね
あても無いので
しばらくは…

この体では
一人で遠出という
訳にもいかない

色々慣れるまでは
迂闊に動くことも
できな

おお
そうか

じゃあ
しばらく
よろしくな!

い...

キュンッ

は...

はいっ

なんだ?
今なんで
私!?

はー
助かる...

え...!?

!?

!?!?

?

私は男だ!!
気をしつかり持て
男に惚れるなんて
そんな——!

…でも私
今は女だし
何も問題は

違う!!!

ぎょっ!?

本当に何なんだ!?
私の身に何が
起きている!?

精神が体に
引っ張られて…?
それにしただって
こんな……

うたがわ…

大丈夫かカトルさん
そっ…そうだよな
病み上がりだもんな

今日は
もう休むか?

立てるか?

整理する
時間が必要だ…

あ…
ありがとう
ございます

すみません…
はい…

優しい…♥



魔王

何か関係か?

襲撃者?

5年後

ふとろに 野北

私を女に変え 精神にも何かを されている

洗脳...いや 魅了の一種 だろうか...?

子→女(母) 精+異常

鬼を了 した?

ゲン

いい 優しい

類似?

記憶がない間に 襲撃を受けた それは間違い ない

情報が 少ない...

...そういえば ダンさんにお礼 言ってるいな...

...

どこの馬の骨 かもわからない 私に...無償で...

!!?!?

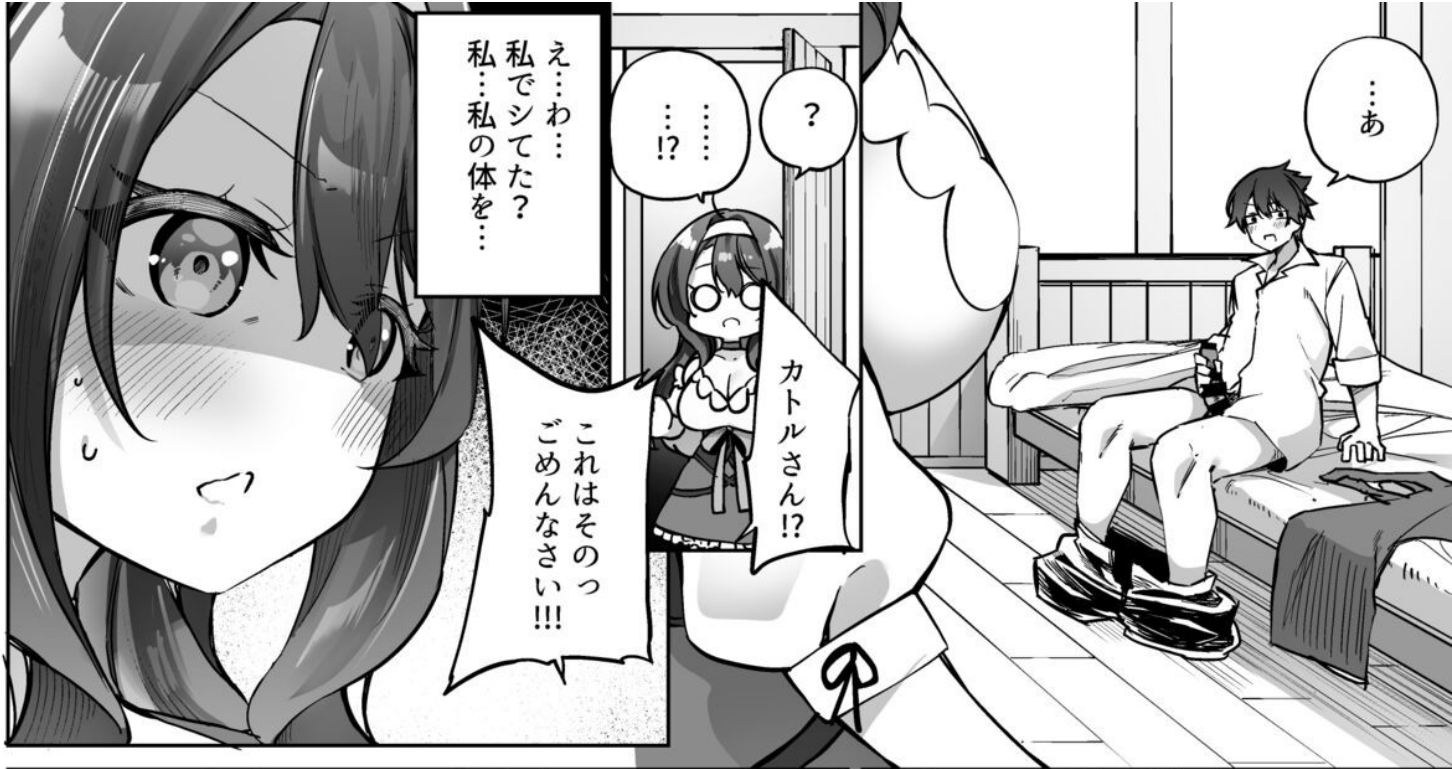
お礼! お礼言いにいく だけだからな!

?

何か 騒がしい...?

失礼しま

カトルさん



え…わ…
私…私…
私…私の体を…

…!?
…
…

?

…あ

カトルさん!?

これはそのつ
ごめんなさい!!!



本当にごめん!!
あまりに好みでつい…
いやダメだよな!?

折角手伝ってくれるのに
俺がこんな事してたら

いい…
ですよ

…え?

今…絶対に
冷静じゃない
頭ではそう思う



私の身体で
よろしければ

けれど今は…
無性にこの人に
尽くしたい…♥



これも
恩返しです♥



恩返し...そう
これもお礼
だから

やばい

ホントに
射精そつ

まだ...
大丈夫...

カトルさつ
ふん



身ノ精ニシ

んんんん

んんんん

すごいつ
まだでて
ますね

あっ
♥

大丈夫…
でも……

んんんん

いっぱい
でましたね♡

っ…

カトルさ

わかって
ますよ

ムフムフ

こんな量の精液…
男だった私が
受け止めたら…

まだまだ満足
できないです
よね…

えっ

ちよ

ほ…ホントに
いいのか…?

私の精神は
耐えられるの
だろうか—

は…

ちよ

……あれ
何かやらなきゃ
いけない事が
あったような……

なら……
挿入れるぞ

んま

ア……

ア……
ア……
ア……

なんだっけ……
頭が蕩けて……

あ……

あ

あ……

カトルさん
動けるかい？

ア……

ア……

ア……

ア……

ア……





!?!?
にやにっ♡
今のっ♡
しらないっ♡

んえい
へん
なんれしゅっ♡
あたまっ♡

まっしろに
なっちやっ

パンパン
ドクドク



♡♡♡

俺も
でそつー！

♡♡♡
おにいちゃん
おにいちゃん
おにいちゃん

♡♡♡
おにいちゃん
おにいちゃん
おにいちゃん

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

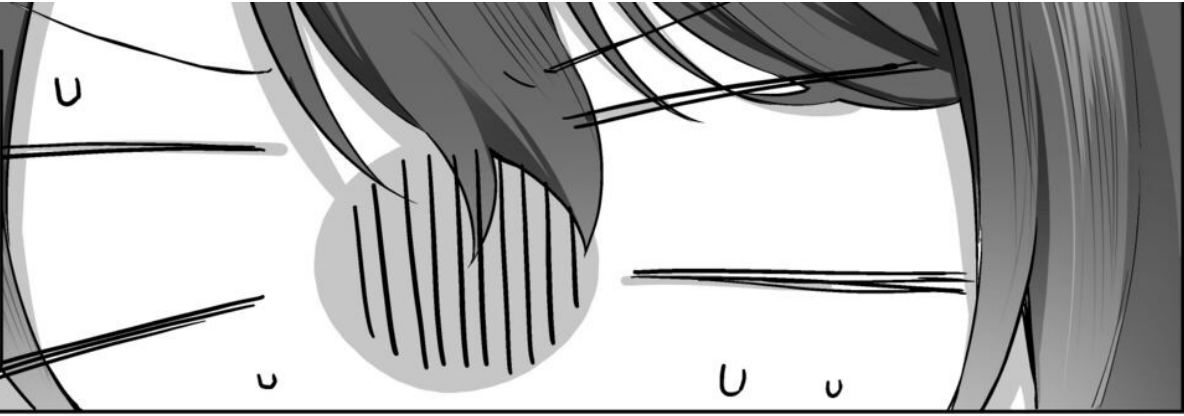
♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡



何
やってるんだ
私は—!?



おう…
本当にゴメン…
俺もそれを
言おうと思って

もう
やりません
からね!?

くわっ

ふん

恩人とはいえ
男と!何の
躊躇もなく!?

男として超えては
いけない一線を
こぐも容易く—

あの…
カトルさん
昨日は…

彼を前にした途端
理性が働かなくなる
…この精神汚染を
なんとかさせねば

しっ失礼しました
こちらに「記名
を…

私が誘ったのに
わざわざ謝りに
…

カトル / 受けおろが二 / じゃー

—って
違う!!

あー

…ダメだ

解呪の魔法も
精神浄化も
効かない…

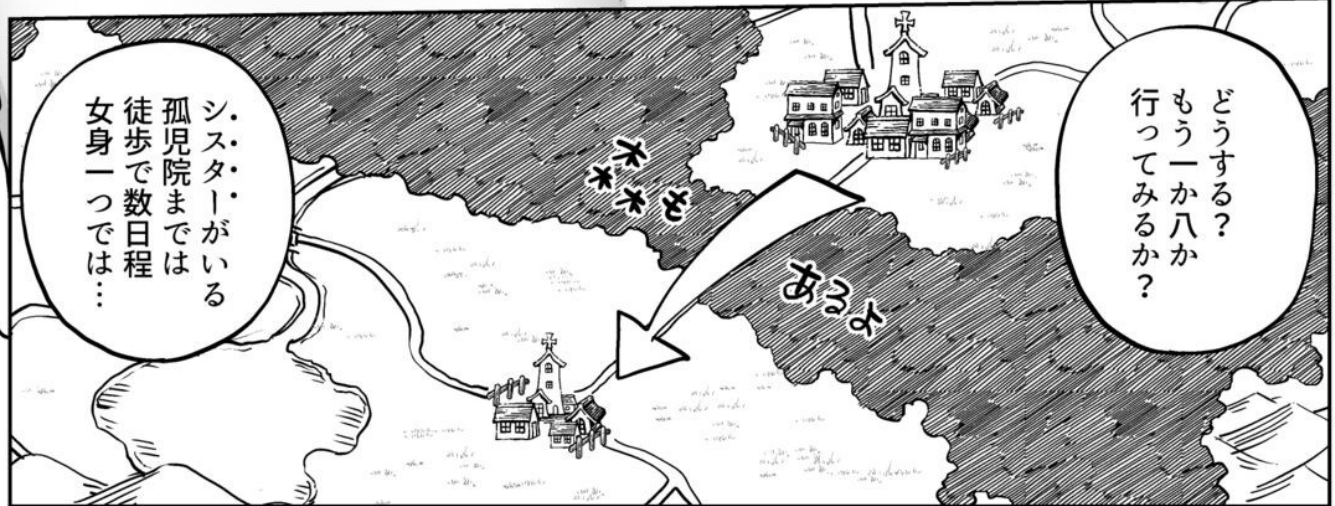
これでは原因が
分かってても
対処のしよう
が…

この体になって
出力が落ちた？
それとも汚染の
力が想定以上に…？



どうする？
もう一か八か
行ってみるか？

シスターがいる
孤児院までは
徒歩で数日程
女身一つでは…



…ダンさんが
いてくれたら
…

違う!!
しつかりしろ!!!
抗え—!!

がっしり

身体…逞しかった
きつと昔は冒険者
でもやってたんだ
ろうな…

oo



しかし
それからも
有効な手立ては
何も浮かばず

気が付けば
宿屋の看板娘として
町中に名が知れ渡る
までになっていた

ああ
ちよつと隣町に
用事ができてさ

出張……
ですか？

そうして
二か月が
過ぎた頃

期待
してるぜ！

じゃ
よろしく
頼むよ！

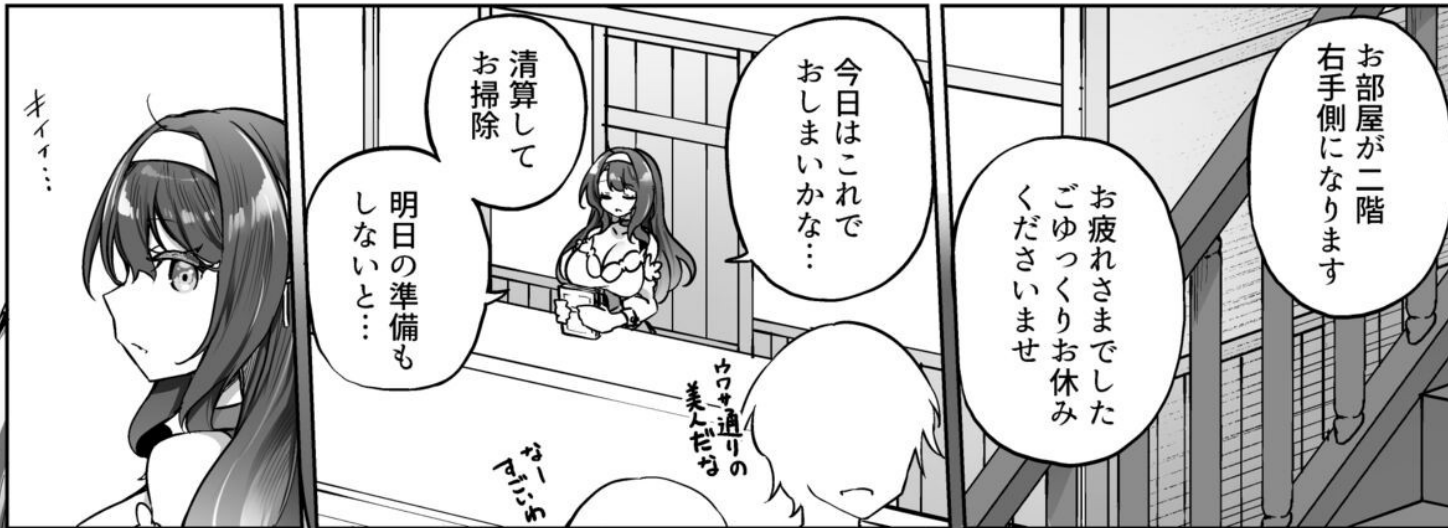
あ……はい
構いません
少しさみしい
ごめんと……

三日ほど
任せても
大丈夫かい？





…よし
がんばろっ



あれ…

ん…

いつの間に
こんなこと
して…っ♡

すき♡

すーん
すーん

ダンさんの
エプロン…

ダンさんの
匂い…

すき

んん

んん

すん

すき♡

んん

ゆびっ♡
勝手に
うごいちゃう

んん

んん



だんさん...♡

だんさんの
ほしいっ♡

だんさん♡

♡♡♡
♡♡♡♡♡



でも...
ダメだから

私には
やらなきゃ
いけない事が



なに...
するんだっけ

私...私は

責任も肩書も忘れて
ただの人として
その人生を

私はただの町娘で
ダンさんに助けて
もらって……

それで……

ダンさんの
優しい笑顔が
大好きになって……

だからカトル
君も幸せになって
いいんだよ

幸せに……

そうだ……
私……

カトルさん
ただいまー！

お

お帰りなさい
ダンさん

随分情熱的な
出迎えだな！
寂しかったか？

フッフ
秘密です



ごめんなさい
今日は勝手に
お休みにしちゃい
ました

全員の
毛髪を落とす

ダンさん
疲れてると
思いました

あ...ああ
それで看板が

ありがとよ
カトルさん
嬉しいぜ！



.....
ダンさん

ダンさんの
赤ちゃんが
欲しいです

お嫁さんに
してください

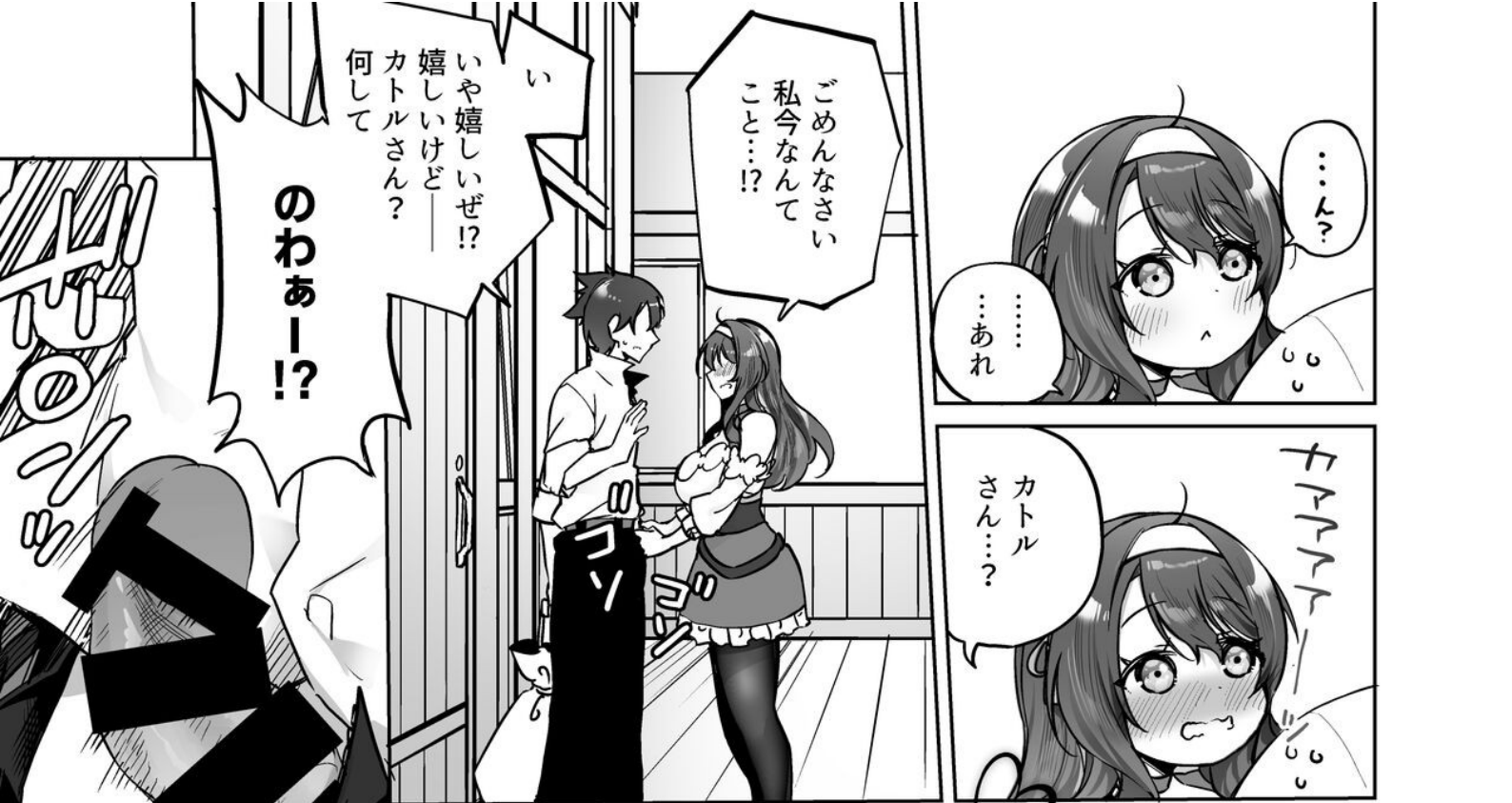
は!?

情熱感皆無の
プロポーズ!?

一つ
ご相談が...

しれっ

ししし

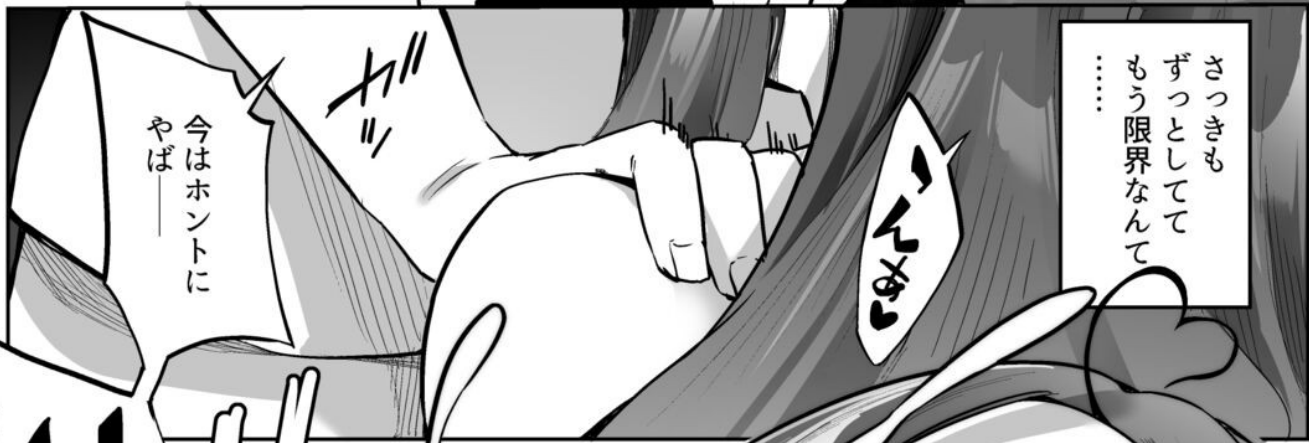




あれからずっと
ダンさんが
恋しくて

カトルさん!

お仕事の合間に
ダンさんの
お部屋で自慰を
してただなんて



さっきも
ずっとしてて
もう限界なんて
……

今はホントに
やばー



あっ♡



…それは
自分の気持ちに
抗うためです

ごめんなさい
三日間…
本当に恋しくて



でも本当に
どうした!?

以前はもう
やらないって



ゴメン!
かけるつもりは
…



ちょ…ちよつと
冷静になって
きました…

カトルさん…



こんなに
なつちやうなら
最初から素直に
なるうって…

そう思ったら
身体が勝手に
…



とりあえず
ベッドに行こう

え…

な?



わかった



だから
情けない話
だけどよ

かし

その…
ダンさん
私…

さっきの答えも
まだ返してない
だろ

本当は俺から
言うべきなんだ
けどな

改めて俺からも
言わせてくれ
ないか



俺と結婚してくれ
カトルさん…いや
カトル

…っっ!!



絶対に
幸せにする



それだけ俺を
想ってくれたん
だろ？

嬉しいよ

はっ...
はっ...

だから...
だからあっ

旦那さんの
おちんぽ...はやく
くさすっ...

ったく...

可愛い
なあ...!

ふっ

フルッ





ダンさんの…
私の膣内に
挿入ってる…♡

あ、まだ

あ、まだ

ずっと
欲しかった…
きもちいい…♡

動くよ…

あ、まだ

ん、うん

あ、まだ

あ、まだ

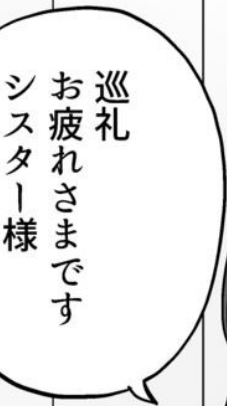
あ、まだ

2週間後

ご予約です
ねお部屋に
ご案内します

巡礼
お疲れさまです
シスター様

ご丁寧
ありがとうございます
ございます



?...いえ
初対面かと

その...
どこかでお会い
しましたか...?





あっ！受付
主人にお願い
してきますね！

ぜひ！



そうでしたか
私気になります！
その方のお話

あら
お聞きに
なりますか？



そっ
そうですよね！
失礼しました
なんだか昔の
仲間に似ている
ような気がして…

ここ



こうして勇者一行は
新しい身体と身分で
未永く幸せに暮らす
のでした♡

めでたし
めでたし



